

平成のクーデター

小沢氏への狙い撃ちは全国民への発砲である。検察（官僚）の悪行を断じて許してはいけない。今回は国策捜査ではなく、「民主党と官僚組織の権力闘争」なのです。

だがこの国を支配するのこの国を支配しなければいけないのは小沢氏でもなく官僚でもない。日本国民が支配しなければならぬ。

それを小沢とか新政権の言葉に意図的にすり替え、官僚

は国民を敵に回さないようにしている。これは自民党も民主党も関係なく、霞が関と米国の意に反する者はスキャンダルを仕組まれ、強引に罪を被せられて、自殺の報道、明朝東京湾に浮かぶことだ。

政治家を選ぶのは国民だ、今まで自民党政治というのは官僚に丸投げで官僚にとって都合の良い法律を作ってきた。

戦後から長い年月の中で積もり積もって政治家よりも官僚の力が大きくなってしまった。だから官僚と米国のために作った法律（ルール）に背く政治家はこれまで全て敵だと思われてきた。

この構図は米国と同じである。米国にも共和党、民主党があり選挙で大統領を選ぶ事になっているが、そんなものは建前であり、米国民が選んだ大統領よりも権限のある人物がいる。それがデヴィッド・ロックフェラーだ。

つまりデヴィッドと取り巻きが、日本でいう霞が関である。

(有)西川経営オフィスサービス
中村会計
事務所便り
 2010年1月18日(月) N095
地域から明るい未来を作ろう

誰が大統領になろうか全てがデヴィッドの操り人形であり、オバマもブッシュもクリントンもほとんどが大統領選前の何年も前から次の大統領が決められてきた。そして選ばれたといってもデヴィッドやNYの金融業、軍に関連する者たちの意に反する大統領はケネディのように暗殺される。ケネディだけでなく、その周りの者や世間に真実を知らせる者も同様に抹殺された。

官僚組織とは

官僚は、有権者に対して責任を全く負わない。責任を負わないということは、責任を

人の一生を一行に表せばこのようだ。

一行の旅路をたどる道中「人の幸せを願う人の不幸を悲しむことの出来る人間になる」と前に心した。「起きていることはすべて

取らないということだ。責任を取らないということは、自分たちの官僚集団を守るために、何でもすると言うことだ。何でもするということは、官僚は、国民のことなど考えないということだ。

自分自身も受託取罪などで有罪判決を受けて上告中の新党大地の鈴木宗男代表は、16日午前0時前、議員会館前で「15日昼に石川議員から電話があった。水谷建設（の元幹部）に会ったこともないし、金をもらったこともない。接待もないと訴えている。検察は全く聞いてくれない、私自身大変つらいです、と泣きながら話した」と、様子を述べた。「家宅捜索を受ける必要がないのか。異常としか言えない。官僚政治の打破を掲げて政権交代したが、検察も官僚組織の一部。このまま民主党政権が続けば自分たちがどうなるかわからないから暴走したのだから。鳩山政権つぶしたと受け止めている」と語った。

テレビ6社（NHKを含む）新聞5社は、アメリカの手先である。まだ残っているであろう、まともな感覚をした記者たちが、内部から、幹部たちに反抗の火の手を上げるべきで、「自分たちが、今、やっていることは、本当に、国民に真実を伝え、国民のためになっている報道なのか」と、激しく自問し、幹部に抗議の行動を起こすべきなのです。

正しい「人は何を学び何を行動するかと、何を考えるか」のようです。すべて起

生まれて恋して死す



を選ぶ、最近見た3D映画でも、ひとそれぞれ感じ方はそれぞれですが、世界の文化の流れは鮮明です。新世紀です。

都なる荒れたる家にひとり寝（ね）ば旅にまさりて苦しかるべし

― 大伴旅人 ―

きる現象は自然の一部です。自然と共生して生きること